

パブリックコメント手続きに寄せられたご意見と本市の考え方

	ご意見（要旨）	本市の考え方
1	<p>免疫低下等による結核患者が増えているし、外国から入国する人も増加しているが、1年に1回検査していない人へ健診するなど対策が必要ではないか。</p>	<p>本市の考え方</p> <p>免疫低下により発症する結核患者は、高齢化に伴う免疫低下が主な要因と考えられる高齢者と海外からの入国後に環境の変化等で免疫が低下したと考えられる20代の外国人に多くみられます。</p> <p>高齢者結核対策については、早期発見に向け、医療機関における年1回の結核健診の実施やPZA治療の推進に関する普及啓発を行います。あわせて、介護・福祉関係者に対しては結核患者の早期発見に関する周知を、高齢者に対しては結核に関する正しい知識の普及や結核健診の受診勧奨を進めます。さらに、接触者健診ではIGRA検査を実施し、LTBI治療の推進に取り組んでまいります。</p> <p>外国人対策として、結核患者の早期発見を目的に、定期健康診断の勧奨を行うとともに、接触者健診とLTBI治療を徹底します。また医療通訳派遣事業の充実、患者に合わせたDOTSの実施、治療中の国内外への転出時の対応（結核研究所における「帰国時結核治療支援」の活用）を進め、患者支援と普及啓発に取り組んでまいります。</p>
2	<p>西成区での清掃事業従事者や手荷物預かり（ロッカー）を利用される方への結核健診が必要ではないか。</p>	<p>患者の早期発見のため区役所における毎日健診、区内各所における結核健診（随時）及びあいりん地域内各所における結核健診（定期実施）、医療機関における結核健診を実施し健診の機会を確保しています。</p> <p>また、高齢者特別清掃及びシェルタースタッフへの結核研修（随時）に加え、介護事業者やケアマネジャーへの結核研修（随時）等を行い結核の正しい知識の普及啓発にも取り組んでまいります。</p>